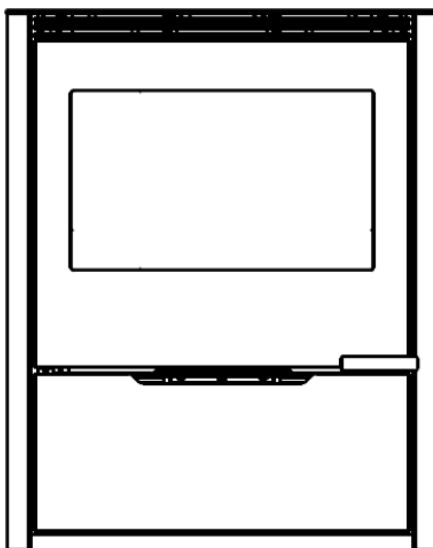


ILD 12 ECO

ILD 12 ECO

ILD 機種別取扱説明書



ILD 12 ECO



目次

1. 正しく安全にお使いいただくために
2. 製品仕様
3. 薪について
4. 各部操作方法
 - ・ フロントドアの開閉
 - ・ クイックベント(焚き付け専用のレバー)の開閉
 - ・ 燃焼調整、グレートレバー
 - ・ 灰受け皿の取り出し
5. メンテナンスについて
 - ・ 扉のガスケットの取替え
 - ・ ガラスのお手入れ
 - ・ バーンプレート・バツフルのお手入れ
6. 参考図
7. パーツリスト

1. 正しく安全にお使いいただくために

正しく安全にお使い頂くために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管して下さい。

- ・ コーシオンプレートと保証書は大切に保管して下さい。スキャンクオリティーシステムのサービスやメンテナンスを受ける際にご提示いただく場合があります。
- ・ 本体及び煙突は高温となります。直接手で触れないようにし、扱う際は必ず耐火製のグローブを着用して下さい。
- ・ 正しく使用されない場合、火災事故や火傷や死亡事故につながる場合があります。
- ・ 使用時に薪がはぜる(火の粉が飛ぶ)ことがあります。必ず本体扉を閉めてお使い下さい。
- ・ 安全にお使いいただくために、定期的なメンテナンスを行って下さい。
- ・ スキャンの製品は、生産物賠償責任制度に加入しています。

2. 製品仕様

製品名	ILD 12 ECO
本体寸法	幅 782×奥行 518×高さ 978(mm)
重量	ILD 12 ECO: 154 kg
定格出力	8,5kW(7,310kcal/h)※1
薪長	50 cm
暖房面積	187 m ²
試験データ	78%@8,5kW(燃焼効率@出力)
適切な薪量	2.6kg/h(定格出力より算定) <T4>
燃焼方式	クリーンバーン(2次燃焼方式)
煙突径	Φ150
煙突方向	上・後
本体カラー	ブラックペイント

<T4>スキャン・オーナーズ・トレーニングチェック項目です。薪を入れすぎた状態で使用すると過燃焼になり本体を破損する場合があります。機種により、適切な薪の量が示されています。

3. 薪について

◆最適なサイズの薪を使用する事で、乾燥しやすく、燃料として理想的にご使用いただく事が出来ます。少なくとも 2 種類の薪を用意しましょう。

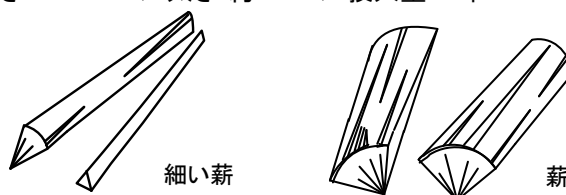
・推奨する薪

＜焚き付けの薪＞

・長さ:25-30cm／太さ:2～5cm／投入量:10-14 本

＜通常使用時の薪(割ってある物)＞

・長さ:25-30cm／太さ:約 10cm／投入量:2 本



＜注意＞薪の投入について

- ・薪が本体手前のガラス面に倒れてこないように注意してください。
- ・ストーブ背面のセカンドエアプレートより高く積み上げないように注意してください。

4. 各部操作方法

・ フロントドアの開閉

フロントドアハンドルを手前に引き、左側へ扉を開けます。閉めるときは扉を押しながらフロントドアハンドルでロックをかけます。(Fig. A)

・ クイックベント(焚き付け専用のレバー)

着火後の始動時には、本体正面下部(左)のクイックベントをスライドして空気調整をして下さい。焚き始めはレバーを左側にスライドさせ全開にして焚付けを行い、火勢が強まったら、一旦レバーを右側にスライドさせ全閉します。

通常焚きでは、スライドレンジ 0～50%で調整しながら使用して下さい。(Fig. B)

<注意>

クイックベントは一次燃焼空気調整レバーです。ソフトウッド/燃えやすい薪等を使用して焚き付けられて、火勢が出てきたら、クイックベントは一旦全閉にして下さい。

・ 燃焼調整レバー

通常焚きのとき本体正面下部(右)のレバーをスライドして空気調節して下さい。右にスライドさせると空気量が多くなり、火勢が強まり(高温)、左にスライドさせると空気量が少なくなり、火勢が弱まり(低温)ます。通常焚きでは、スライドレンジ 50～100%で調整しながら使用して下さい。(Fig. B)

・ 灰受け皿の取り出し

扉を開き、耐火手袋で灰受け皿のハンドルを手前に引き出します。灰受け皿を本体に戻す際は、ハンドルを持ち本体奥まで入れてください。(Fig. C)

<注意>

・ **本体が完全に冷めたことを確認の上、灰受け皿を取り出して下さい。**

5. メンテナンスについて

定期的なメンテナンスの際に、消耗品の交換をしましょう。

・ 扉のガスケットの取替え

扉の周囲につけて気密性を保つガスケットは、使用に伴って消耗してきます。扉のガタつきや空気漏れ、ガスケットそのものに「へたり」が見られたら交換時期です。(Fig. D)

- ① ガスケットをはがして、溝にこびりついている耐火セメントをドライバーやワイヤーブラシで取り除きます。
- ② ガスケット専用の接着剤を溝に薄く塗布します。
- ③ 新しいガスケットを、隙間なく押し込みます。常温

で3時間以上乾燥させます。

・ ガラスのお手入れ

製品にはエアウオッシュシステムが装備されています。本体上部からガラスの内側に沿って空気が流れます。ある程度の煤は煙突のドラフトや燃焼レバーの調整具合によってガラスに付着しますが燃焼調整レバーが開いている時や炉内で炎が活発に燃えている時に消散します。

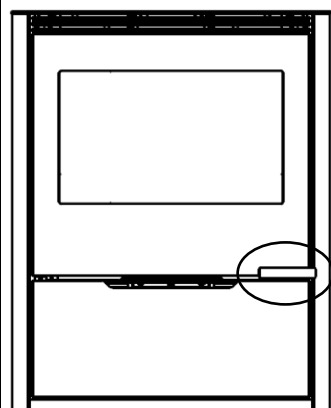
通常のクリーニングは、薪ストーブが冷めた状態を確認して、ぬれた布に灰を少しつけてガラスを磨きます。最後に乾燥した布で拭いてください。

落ちにくい煤や汚れは、ガラスクリーナーを塗布し、乾いた布等できれいに取り除いて下さい。また、ガラスにヒビや割れ等が生じた場合は、直ちに使用を中止して、新しいものと交換して下さい。

・ パーンプレート、バッフルプレートのお手入れ

プレート全体にクレオソート等の汚れが付きますので、気になる場合はブラシ(バーミキュライト素材は傷が付くので注意してください)をかけて汚れを取り除いて下さい。ヒビ割れ、変形が生じた場合は、直ちに使用を中止して新しいものと交換して下さい。そのまま使い続けると、暖炉本体の寿命を縮めます。

6.参考図



フロントドアハンドル

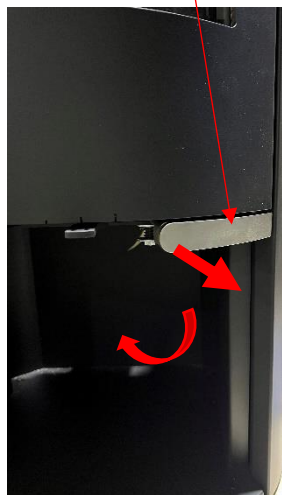
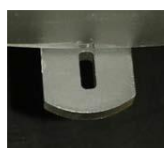


Fig.A

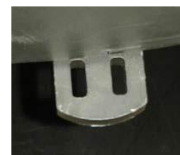


クイックベント

燃焼調整レバー



開 ← → 閉



閉 ← → 開

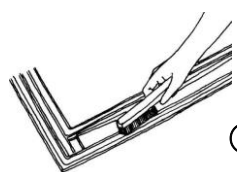
Fig.B

灰受け皿



手前に引き出す

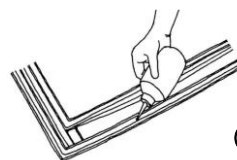
Fig.C



①



②



③

Fig.D

7.パーツリスト ILD 12

フリーアウトレットΦ150

50047851



フロントガラス

50058406



スチールトップ

50058407



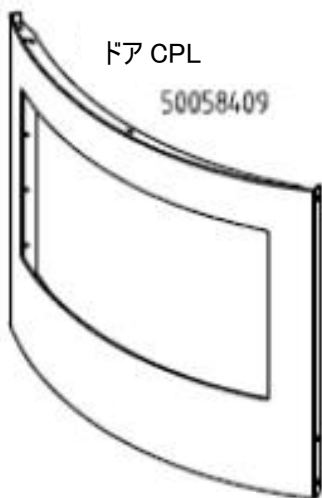
セカンドエアプレート

50058408



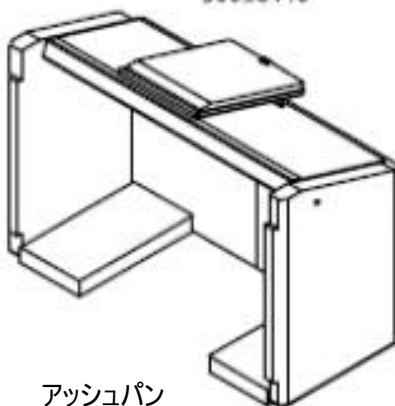
ドア CPL

50058409



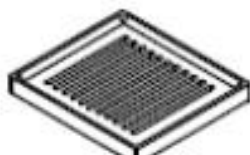
バーンプレートキット

50058410



インナーボトム

50058412



アッシュパン

50058413



グレート

50058414



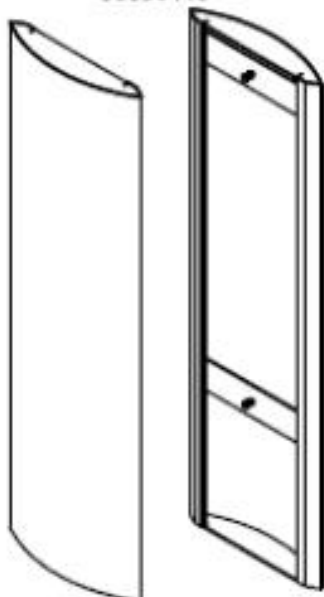
ハンドル CPL

50058415



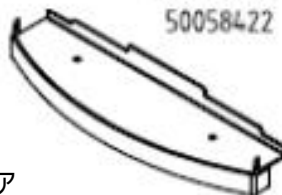
サイドパネル レフト/ライト

50058416



Air shelf

50058422



コンポーネントドア

50058417



アッシュリテイナー

50058423





コーションラベル

「スキャン・クオリティー・システム」は、正規のスキャン・ディーラーでご購入された製品だけがサービスの対象です。製品には、ご購入時に保証書と一緒にコーションラベルが貼付または同梱されていますので、必ずご確認ください。※スキャン本社の保証規定に従い、正規輸入品のみの保障とさせていただきます。

スキャン日本総代理店



株式会社 メイク

東京ショールーム

〒101-0043 東京都千代田区神田富山町 5-1 神田ビジネススクープ1F
TEL_03-6418-4822

つくばショールーム

〒300-0847 茨城県土浦市卸町 2-5-25
TEL_029-841-5147 FAX_029-843-8421



URL <http://scan-stove.jp>

202603